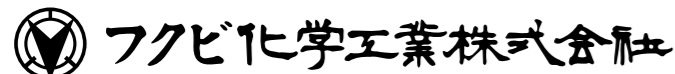


ご使用上のご注意

- 汚れ落としにシンナーを使用しないでください。シンナーの種類によっては、溶解することがあります。中性洗剤で落ちない油性の汚れは、ベンジンやアルコールをご使用ください。
- カビキラーなどのアルカリ系薬剤、酸性漂白剤などは変色することがありますので、使用をお避けください。また、カビキラーや酸性漂白剤(サンポールなど)は、デッキ下地の金属製根太を腐食させますので、薬剤を床下に流さないようにしてください。誤って流れた場合は、大量の水で十分洗い流してください。
- 軽い汚れの場合は、消しゴムなどでも落ちる場合があります。多少ツヤが変わることがありますが、性能上の問題はありません。
- 本製品は天然の木粉を原料に使用しているため、原料の色調により製品の色にばらつきがあることがありますが、性能上の問題はありません。
- 本製品は木質感をだすために表面の粗し加工を行っていますが、粗さに製造上のばらつきがあります。また、木材のささくれのように見える毛羽が表面にある場合がありますが、木材のような尖ったささくれは起こりませんので、刺さることはありません。歩行に徐々に毛羽はなくなりますので、ご安心ください。毛羽が気になる場合は、1000番程度の目の細かいサンドペーパーで軽くなるように擦ると平滑になります。
- デッキ面材表面は吸水性が少なく、製品形状と水の表面張力により雨水が乾きにくいことがあります。特に日当たりが悪い場所では雨水が乾きにくいので、モップや水切りワイパーなどで軽く水を取り除くと、早く乾燥します。
- デッキ施工後の仕上面に養生を行う際は一般的なブルーシートやベニアなど日射をさえぎるものをご使用ください。
- デッキが乾いた状態で、雨水などの水がシート裏に回り込まないようにしっかり養生してください。万が一水が侵入した場合は養生を一度剥がしてシート下を十分に乾燥させてください。
※通気性のない透明ポリシートなどをご使用時は日射で水跡が残りやすいので特にご注意ください。
- 養生材を長期間貼ったままにしないでください。周囲の製品と色ムラなどが発生します。
- 重量物の運搬、保管などが予定される場合は、シートなどで養生を行いその上にベニアなどで重量が分散するように補強ください。
- 損傷・破損などの不具合が発生したまま使用すると、ケガなどの原因となりますので、お取り扱いの施工店、工務店、販売店に修理をご依頼ください。

● 商品についてのお問い合わせは販売代理店または弊社まで



本社／福井市三十八社町33-66 ☎(0776)38-8013 〒918-8585
東京 ☎(03)5742-6301 大阪 ☎(06)6386-6950 名古屋 ☎(052)855-2332

札幌 ☎(011)896-7500 盛岡 ☎(019)654-7511 仙台 ☎(022)287-3471
宇都宮 ☎(028)636-3521 北関東 ☎(048)661-0400 千葉 ☎(028)636-3521
神奈川 ☎(045)470-1050 新潟 ☎(025)241-7832 北陸 ☎(0776)38-8010
静岡 ☎(054)288-3600 岡山 ☎(086)232-0601 広島 ☎(082)246-7211
福岡 ☎(092)471-5800 鹿児島 ☎(099)259-0220 沖縄 ☎090-1995-2980

<https://www.fukuvi.co.jp>

2024.11 ①

このたびはプラスッドデッキNDをお買い上げくださりましてありがとうございます。
この商品を末永く、安全にご使用いただくために、取扱説明書をよくお読みください。
この説明書は、ご使用になるお客様が大切に保管ください。

安全上の注意

ご使用になる前にこの「使用時の安全上の注意をよくお読みの上正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ずお守りください。
表示の意味と内容は下記のようになっています。

警告 この表示の注意事項を無視して誤った使い方をすると人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

注意 この表示の注意事項を無視して誤った使い方をすると人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容を示します。

● その他の記号の意味

⚠ 「ご注意ください」という注意喚起または警告を含んだ内容であることを示します。

🚫 「～しないでください」という「禁止」を示します。

🛑 「必ず実行してください」という強制を示します。

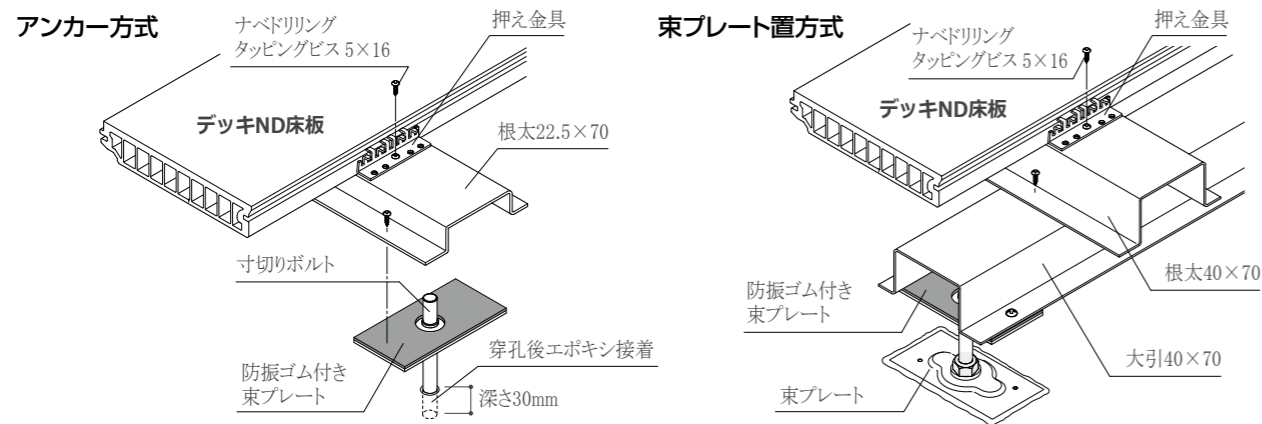


	火気を近づけないでください。燃えたり、変形することがあります。		強い衝撃で床板やデッキパネルをたたいたり重いものを落としたり、鋭利な刃物で傷をつけたりしないでください。部材の破損などでケガをすることがあります。		日中日差しの強い時期に素足でデッキの上を歩かないでください。デッキ表面が高温になりヤケドをすることがあります。特に幼いお子様はご注意ください。	
	デッキが雨等で濡れているときは滑りやすくなっていますので、転倒しないよう注意してください。雨水は、モップなどで取り除いてください。		デッキの面材の間や壁際との隙間に指を入れないでください。指を骨折したり、ケガをすることがあります。		点検口をあける際は、金属製根太などで手を切る恐れがありますので、必ず手袋をして、気をつけて作業してください。	
						禁止 本商品は人が歩行するデッキ用途に設計、製造されていますので、それ以外の用途での使用は思わぬ事故につながり危険です。絶対におやめください。



	デッキ表面に食べ物を落としたら速やかに中性洗剤などで清浄にしてください。特に油性の物が付着した場合は、油シミになることがあります。ただし、製品の強度などには影響しません。		シンナーなどの有機溶剤を接触させないでください。溶けたり、変色することがあります。	
	デッキ面材及び根太材に強酸、強アルカリ性薬剤、洗剤などを接触させないでください。変色や下地根太の腐食が起こることがあります。		デッキ面材の溝から、コインが落下しにくい構造を採用していますが、コインが絶対に落ちないというわけではありませんので、コインなどを落下させないように気をつけてください。	
				薄手のストッキングや靴下で直接歩かないでください。ストッキングや靴下が破けることがあります。

プラスッドデッキNDの構成と名称



商品の仕様

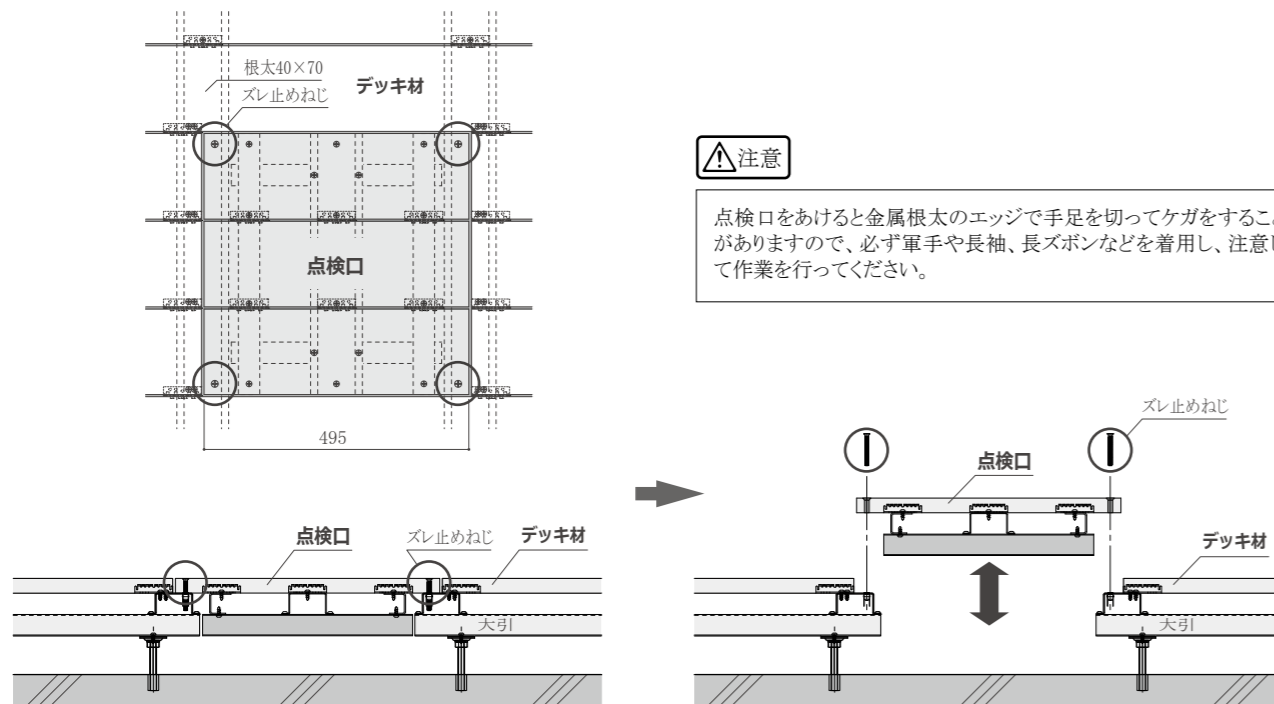
部 材	材 質
デッキ面材	木粉入り樹脂
根 太	高耐食性亜鉛メッキ鋼板 (ZAM) t=1.6mm または 2.3mm
押え金具	ステンレス SUS430 t=2mm
束プレート	高耐食性亜鉛メッキ鋼板 (ZAM) t=2.3mm 防振ゴム (EPDM) t=2mm
寸切りボルト	ステンレス SUS304 M12
耐 荷 重	5,000N/m ²

点検口の取り扱い方

●点検口の取り外し方法 (点検口がある場合)

点検口は、通常取り外す必要はありませんが、何らかの理由で取り外す場合は、以下の要領で外してください。必ず軍手などの安全具を身に付けて作業してください。

点検口の4隅のねじをドライバーでゆるめて外し、点検口を持ち上げて取り外します。元に戻す場合は、逆の手順で取り付けます。



デッキ材の雨シミの清浄方法

デッキ材は、耐候性に優れた樹脂中に天然の木粉を混合した再生木材です。耐久性のある樹脂を使うことで、腐らない、ささくれないといった特徴があると同時に、天然の木粉を含むことにより、自然な艶になるというメリットがあります。

天然の木粉自身は樹脂中に分散していても、完全に木の性質がなくなるわけではありません。そのため、製品に含まれる天然の木粉から木の成分が雨水に溶けだして、デッキ材表面にシミが発生することがあります。耐久性などの性能や人体に影響をあたえるものではありませんが、汚れたように見えるため外観上気になる場合があります。この雨シミは、時間の経過とともに発生しにくくなりますが、普段雨が吹き込まない部分まで強風で雨が吹き込むと、その雨に濡れた部分で新たに雨シミが発生することがあります。雨シミは、水で流すだけでは取れませんが、洗剤などを使えば清浄になります。

・準備するもの

1. 中性洗剤
2. スポンジ、布、雑巾など
3. 洗浄のための水 (バケツなどに水を入れて用意)
4. デッキブラシまたは不要になった歯ブラシ (場合によっては使用)

・方法

1. スポンジを水に浸し、軽く水をしぼり、中性洗剤をつけます。
2. 雨シミの部分に水を浸すようにして、すこし強くこすります。
3. シミが取れにくい場合は、中性洗剤を多めにつけたり、強めにこすると効果的です。
4. 表面の凹凸の関係上シミが落ちにくい場合は、デッキブラシや不要になった歯ブラシを使用して、デッキの粗し目に沿ってこすると落ちやすくなります。
5. 雨シミが清浄になったら、きれいな水で洗浄部まわり全体を洗い流した後、きれいな雑巾で水気をふき取ります。

デッキ材の日常のお手入れ

● 長期間清掃しないままにしておくと汚れが落ちにくくなるので、汚れがひどくなる前に定期的 (最低でも1-2回/年) に清掃をお勧めします。

● 清掃方法

・準備するもの

1. 中性洗剤
2. スポンジ、布、雑巾など
3. 洗浄のための水 (バケツなどに水を入れて用意)
4. デッキブラシまたは不要になった歯ブラシ (場合によっては使用)

・方法

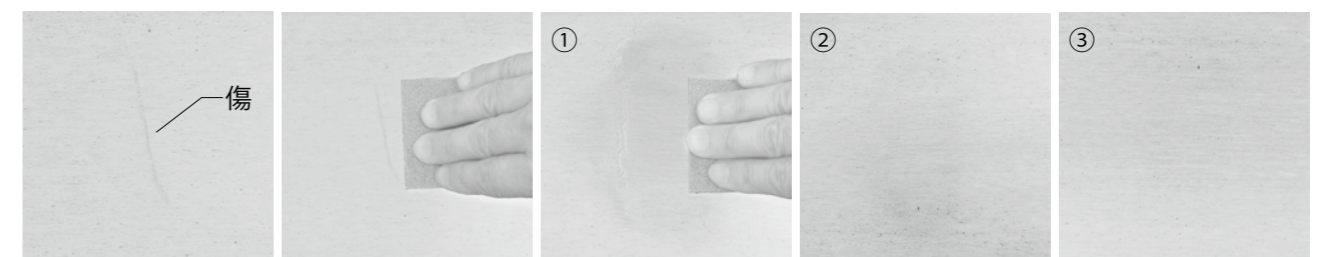
1. デッキ面全体を水で流し、砂や泥を軽く流します。
2. スポンジを水に浸し、軽く水をしぼり、中性洗剤をつけます。
3. デッキ表面をスポンジでこすり、泡立て、汚れを落とします。
4. 汚れのひどい場合は、デッキブラシなどで、こすってかまいません。
5. 洗剤を水で洗い流し、きれいな雑巾で水気をふき取り、乾かします。

● プラスッドデッキNDは、塗装のように少しの傷で下地まで傷が到達することはありません。およそ1mm程度の表層が着色されていますので、浅いすり傷がついた場合は、サンドペーパーなどで削って、十分目立たなくすることができます。

手順①60番程度のサンドペーパーで傷が目立たなくなるまで目に沿って表面を薄く削ります

②水を浸した布などで表面を拭きます

③削った跡が多少白っぽい場合は周りを含めてサンドペーパーで同じ方向に筋目をつけます



高圧洗浄機での洗浄については、目立たない箇所を試してからご使用ください。表面を傷める恐れがありますので、水圧を上げすぎないようにご注意ください。